

静岡県言語・難聴・発達障害教育研究会

会 報

第 5 2 0 号

発行日 平成 2 9 年 3 月 1 7 日

担 当 富士宮市療育支援課
(療育支援センター)

〒418-0061

富士宮市元城町 1 番 2 号

電話 0 5 4 4 - 2 2 - 6 8 6 8

F A X 0 5 4 4 - 2 2 - 6 8 6 9

富士宮市療育支援課長 山口多佳子

富士宮市療育支援センターは、富士宮市の療育の中核施設として平成 26 年 4 月に開設し、平成 29 年度で 4 年目を迎えます。「㊦子どもも、保護者も ㊧安心、安全に

㊨楽な気持ちで楽しい子育てを」を目指し、その頭文字をとって須藤市長が愛称を「こあら」と名付けました。「こあら」は市の中心街に位置し、保育園、小学校と隣接した施設です。建物は 3 階建て、1 階にはキッズコーナーを設け、子育てや療育情報が得られます。2 階と 3 階が相談、早期療育の施設です。



この施設では、障害の有無にかかわらず、発達等の心配のある子どもを対象とし、相談や早期療育、幼稚園・保育園等への訪問、子どもを支援する人への研修等を行っています。

「こあら」の開設により、新規の利用者は倍増し、開設以降の利用者数は常に年間 400 人を超えています。

利用者の約 6 割が、言葉が遅い、発音が不明瞭、吃音など言葉の問題を主訴に相談されます。しかし、発達検

査等を実施すると、言葉の問題だけでなく発達全体の問題を抱えていることが見つかる場合があります。言葉の問題を主訴として相談に来た場合でも、その子の状態に合わせ、ことばの教室担当者だけでなく、臨床心理士や、作業療法士、保育士など様々な専門職種が関わり、子どもと保護者の支援をしています。

当市のことばの教室は昭和 49 年に幼児と学童を対象に東小学校に開設しました。その後、幼児のことばの教室は保健センターに場所を替え実施してきました。そして、この「こあら」の開設を機に現在の形での実施となりました。就学を前にした年長児の相談の約 3 割は発音の相談です。ことばの教室に通い、言葉を話すことに自信をつけて就学した子どもも多くいます。

「こあら」ではすべての子どもが自己肯定感をもって成長していけること、子どもの発達等の問題で保護者が悩んだ時も気持ちが軽くなる場所があること、周りの人間がそれぞれの持つ特性を理解した上で、お互いを尊重し、配慮しあえることを願い、これからも活動を続けていきます。



教室の紹介

『ことばの教室』で使用する部屋は、主に相談室ですが、その児に合わせ、その児に必要な部屋で指導しています。

また、センターには、多職種のスタッフ（保健師、保育士、臨床心理士、作業療法士）がいるので、『ことばの教室』のスタッフだけではなく、必要に応じて1人の児を、いろいろな角度から見てもらうこともあります。

<相談室>

主に「ことばの教室」で使用しています。



<機能訓練室>

感覚統合に基づいた運動遊び等をします。

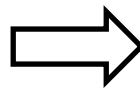


<療育室>

吃音のグループ活動の時に使用します。



同じお部屋です。目的に応じて道具を使用します。



<観察室>

ヘッドフォンを設置してあります。



教材の紹介

<わくわくビンゴ>

子どもたちに1番人気です。



<きょうりゅうマグネット>

マグネットペンを使って玉を運びます。



<森のゆらゆらゲーム>

ばねの揺れるプレートに積み木を乗せるバランスゲームです。



<アイ・クリップ>

洗濯ばさみのようなクリップで自由に組み合わせて形が作れます。



<手作り教材>

サ行音の練習で、舌先を軽く出して風の音を出す練習の時に使います。リボンを引っ張りながら、風の音を出します。静岡市の幼児ことばの教室の先生に教えていただきました。

